

## 外来診療および入院受入れ再開について

### (クラスター収束のご報告)

1月18日(火)より、職員(院内在勤委託事業者含む)および入院患者さんから新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生しクラスターとなり、外来診療および入院受入れを休止しておりましたが、3月7日(月)より再開させて頂く事となりました。

この間の院内感染者は、患者さん143名、職員84名と大規模なクラスターとなりました(2月28日現在、患者・職員とも陽性者0人)。都度ホームページ上での報告も検討致しましたが、内外ともに不正確な情報による不安・ご心配をおかけすることがない様に、入院患者さんのご家族様を中心とした関係者様に、直接ご連絡をさせて頂き対応をして参りました。外来の患者様、連携医療機関様、連携ご施設様、地域の皆さまには、多大なご心配、ご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

この度のクラスター発生におきましては、苫小牧保健所の皆さま、厚生労働省DMAT所属の先生ならびに医学部感染制御を専門とされている先生などのご指導の下、多くの皆さまのご協力を賜り、大規模なクラスター発生となりましたが、収束することが出来ました。誠に有難うございました。

まだまだ、安心できないご時勢でございますので、感染管理には、より一層の留意をはかり、今後も地域医療の発展のために邁進して参る所存でございます。今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和4年3月1日  
社会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院  
理事長・院長 橋本 洋一